

The 4 Players Tokyo

ザ フォー
プレイヤーズ
トウキョウ

in 文 翔館



司会・トーク
藤岡幸夫

©Shin Yamagishi



© hiro.photo

～ 藤岡幸夫プロデュース 弦楽四重奏団 ～

2025
3.15 sat

13:30開場 / 14:00 開演

山形県郷土館

「文翔館」議場ホール

入場料(全席自由)

一般:3,500円 / 【当日券】4,000円

高校生以下:1,600円 / 【当日券】1,900円

※当日券は残席がある場合のみ販売します。

※床が平面のため、お席によっては舞台が見づらい場合がございます。予めご了承ください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。予約制臨時託児所を設置します。

【予約制託児所】 無料 / 要予約 / 1歳以上の未就学児対象
詳しくは文翔館までお問合せください。
託児所申込締切: 2月28日(金)

【チケット取扱】

文翔館・辻楽器店・富岡本店・八文字屋本店POOL・ローソン
チケット【Lコード:21933】・チケットぴあ【Pコード:285-924】・e+

Program

ヤナーチェク /
弦楽四重奏曲第2番
「ないしょの手紙」

和田薫 /
弦楽四重奏のための
3つの断章

シベリウス /
弦楽四重奏曲ニ短調
作品56「親愛なる声」

※曲目・曲順は予告なく変更になる
場合がございます。

主催 / 公益財団法人山形県生涯学習文化財団 お問合せ / 文翔館 TEL 023-635-5500

※本公演の開催について変更が生じる場合には、文翔館HPに掲載いたします。また、開催変更の場合を除き、いかなる場合もチケットの払い戻しは行いません。

The 4 Players Tokyo in Bunsyokan

Artist The 4 Players Tokyo Date Saturday, March 15 th, 2025 Time Open 13:30 / Start 14:00

Venue Assembly hall of Bunshokan Contact 3-4-51 Hatago-machi, Yamagata-shi 023-635-5500

Day care center Free / Reservation required



文翔館HP

The 4 Players Tokyo *in* 文翔館

ザ フォー プレイヤーズ トウキョウ

指揮者・藤岡幸夫のプロデュースのもと、音楽番組「エンター・ザ・ミュージック(BSテレ東 毎週土曜 朝8時30分放送)」から生まれたカルテット(弦楽四重奏団)。日本のクラシック音楽シーンを牽引する4つのオーケストラから、藤岡幸夫の指名によりトッププレイヤーが集結し2019年に結成。弦楽四重奏の可能性を深く掘り下げ、その魅力を広く紹介し続けている。



第1ヴァイオリン 戸澤 哲夫

Tetsuo Tozawa, 1st. Violin

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団コンサートマスターソリストとしてのリサイタル活動に加えてオーケストラとの共演も数多い。常に斬新な切り口での精力的な活動が認められ、2010年度アリオン賞、2015年第14回佐川吉男音楽奨励賞、2017年第47回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。



第2ヴァイオリン 遠藤 香奈子

Kanako Endo, 2nd. Violin

東京都交響楽団 首席第2ヴァイオリン奏者
横浜シンフォニエッタ、ザ・シンフォニエッタみよしのメンバーとしても活躍。第1回東京室内楽コンクール優勝。第2回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第2位。第5回バオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールにて最高位ならびにサルバトーレ・ジャリーノ特別賞を受賞。



ヴィオラ 中村 洋乃理

Hironori Nakamura, Viola

NHK交響楽団 次席ヴィオラ奏者
ヴィオラカルテット Alto de Campagne、バルテンツァ五重奏団、フューチャー・オーケストラ・クラシックスメンバー、横浜シンフォニエッタシーズンメンバーとしても活躍中。第8回日本演奏家コンクール最高位受賞。



チェロ 矢口 里菜子

Rinako Yaguchi, Violoncello

山形交響楽団 首席チェロ奏者
ドレスデンにてザクセン州立警察オーケストラと共演。在ベルリン日本国大使館における演奏会等、欧州各地で演奏。ライブツィヒ弦楽四重奏団と共演。JTが育てるアンサンブルシリーズ、リゾナーレ音楽祭、宮崎国際音楽祭等に出演。第31回霧島国際音楽祭賞。第10回ピバホールチェロコンクール 第1位。



プロデューサー 藤岡 幸夫

Sachio Fujioka, Producer

関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 首席客演指揮者
日本指揮者界の重鎮であった渡邊暎雄最後の愛弟子。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。首席指揮者を務める関西フィルとは2024年が25年目のシーズン。放送出演も多く、番組立ち上げに企画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)は2024年10月で11年目に突入、放送500回を超える人気番組。2002年渡邊暎雄音楽基金音楽賞受賞。

～藤岡幸夫プロデュース 弦楽四重奏団～

国指定重要文化財 山形県旧県庁舎および県会議事堂

山形県郷土館「文翔館」

文翔館は創建から100年を超える歴史を持つ、山形県旧県庁舎および県会議事堂です。大正初期の煉瓦造公共建築として数少ない遺構で意匠的にもすぐれ、県庁舎と議事堂及びそれらを繋ぐ渡り廊下が一体となって保存されていることなどから、国の重要文化財に指定されました。また、文翔館のシンボルともいえる塔時計は、日本で現在稼働しているもののなかでは2番目に古く、5日に一度、手動で分銅を巻き上げることで時を刻み続けています。現在は、貴重な文化財として建物の保存・公開のほか、郷土についての常設展示コーナーを設けています。さらにはギャラリー、会議室、ホールの貸出を行うなど、多目的な文化施設として県民へ文化活動の場を提供しています。

旧県会議事堂(議場ホール)について

旧県会議事堂は煉瓦造2階建てで、当初から公会堂として広く市民にも利用できるよう建設されたため、議員席も固定席ではなく、県議会がない時は演奏会や講演会などに使用されていました。1986(昭和61)年からの保存復原工事では、かまぼこ型のヴォールト天井や左右の列柱、リノリウムの床、壁紙などが復原され、往時の華やかな雰囲気が蘇りました。現在では、県の公式行事やコンサート、結婚式など様々な場面で県民の皆様が親しまれています。

- 1877(明治10)年
山形県庁舎が完成
- 1883(明治16)年
山形県会議事堂が完成
- 1911(明治44)年
山形市北大火により両棟が焼失
- 1916(大正5)年
両棟が同地に再建(のち「文翔館」)
- 1984(昭和59)年
国の重要文化財に指定
- 1986(昭和61)年
保存復原工事が開始
- 1995(平成7)年
山形県郷土館(愛称:文翔館)として開館
- 2016(平成28)年
創建100周年を迎える



～ご来場に際しご注意とお願い～

- 館内での飲食、敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- 床材保護のため、傷が付きやすい履物(ピンヒールやスパイク、下駄など)での入場はご遠慮ください。また、傘など床が濡れてしまう物のお持込はご遠慮ください。
- 床が平面のため、お席によっては舞台が見づらい場合がございます。何卒ご了承ください。
- ロビーやホワイエのような待合スペースがないため、開場時間までは旧県会議事堂(議場ホール)内への入館をお断りいたします。外には雨風を凌げる場所がございませんので、十分な防寒・暑さ対策のうえご来館ください。開館時間(9:00～16:30)中は旧県庁舎内をご見学いただけます。

■アクセス

山形駅よりベニちゃんバス中心市街地行き市役所南口下車徒歩5分
駐車場は文翔館の北側にございます。(無料・約40台)
※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
(割引サービスはございません。)

山形県郷土館



〒990-0047 山形県山形市旅籠町3丁目4番51号
指定管理者:公益財団法人山形県生涯学習文化財団
TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501
URL <https://www.gakushubunka.jp/bunshokan/>

